

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和6年 9月 9 日

和泉市長 あて

団 体 名 和泉みんなの「第九」実行委員会

代表者名 小出 豊子

所 在 地 和泉市室堂町48-4

電話番号 0725-55-2089

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事 業 名	宮崎剛の「第九」ファミリーコンサート2025
申請コース	(1) 公益活動支援コース ☐ チャレンジコース ☒ ステップアップコース (2) 地域活性化コース ☐ 地域活性化コース
事業費総額	1,599,000 円 (うち、対象経費 1,591,000 円)
支 援 金 交付申請額	730,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団 体 概 要 調 書

フリガナ	イズミミンナノ「ダイク」ジッコウインカイ		
団体名	和泉みんなの「第九」実行委員会		
団体の目的	年末恒例の「第九」を和泉市民とともに歌うことにより、地域における音楽文化の発展向上に寄与することを目的とする。		
市内事務所の所在地	〒594-1101 和泉市室堂町 48-4 【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話	0725 (55) 2089	F A X 
フリガナ	コイデトヨコ		
代表者氏名	小出 豊子		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ コイデ トヨコ 小出 豊子		電 話 0725 (55) 2089 F A X 
(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。			
設 立 年 月	令和5年 6 月	主な活動地域	和泉シティプラザ 弥生の風ホール
会報等の発行	有（ 回発行） ・ <u>無</u>	会員数	5 人
メールアドレス			
ホームページ	https://sites.google.com/view/daiku/home		
主な事業内容	毎年 12 月に、初心者も含めた老客男女が集い恒例の合唱「第九」ファミリーコンサートを開催する。歌う楽しさ、声を合わせることの素晴らしさを、合唱人口が減り、低迷している音楽活動をもっと活性化し、多くの市民の方に合唱の魅力を感じていただき、地域に根差したファミリーコンサートとしての合唱活動として、普及させたい。		
主な活動の実績	恒例の合唱活動を地域の文化活動として継続すべく、前団体の流れを取り入れながら再結成し、2023年度盛況に実施することができた。2年目の本年 12 月 22 日の計画進行中である。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)

事業計画書

1 事業名	宮崎剛の「第九」ファミリーコンサート2025
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース ☐ チャレンジコース ☒ テップアップコース (2) 地域活性化コース ☐ 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 和泉市における合唱活動は、合唱団体の減少や小・中・高校の合唱部の減少もあり、歌う環境が変化し市民の合唱する機会も減ってきています。人の生の声を楽しんだり感じ合うことの素晴らしさを現在忘れていているように思います。 このことは、和泉市にとって、また和泉市民における音楽環境のマイナス面につながり、音楽文化が低調化していく要因にもなります。 そうした音楽環境の中で、和泉市における音楽文化として、広く市民に楽しんでもらえることが必要不可欠であると考え、2009年から前運営組織ミーツスコア・グループ未来がスタートしましたが、コロナでの活動休止等が引き金となり、2022年をもって解散に至りました。 しかし、5名の有志と宮崎剛氏の協力のもと、低迷している音楽活動を活性化すべく、再結成し2023年に続き2年目の活動を展開する予定です。 宮崎剛「第九」ファミリーコンサートを継続して、「第九」を今一度、市民の手で感じ合うことにより、今まで以上の「合唱」の機運を生じさせたいと思います。 「第九」とは、ベートーヴェン作曲交響曲第9番の「合唱付き交響曲」として、日本では、恒例の演奏会が年末に開催される等の音楽文化になっています。	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 a. 恒例の「第九」への参加による、和泉市民への合唱活動の普及 b. 「第九」を近場で楽しく歌うことを通じた、和泉市民の音楽活動の活性化 c. 小・中・高生の若い世代から、親しみのおける音楽教育文化の場を提供。 これらによって、「第九」が和泉市民の毎年待ち遠しく思えるような音楽活況を作り出して、多くの市民の参加による音楽環境を作り出していきたい。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
① 問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 宮崎剛「第九」ファミリーコンサートを応募参加者により、開催する。 a. 宮崎剛「第九」ファミリーコンサートの参加メンバーの募集 b. 練習場所と回数の設定 c. 小学生から高齢者までの初心者も含め、チラシの公共施設への早期配布、各合唱団へのチラシで呼びかけ等、幅広く市民へ参加を呼びかける。 d. 和泉市文化協会を介しての文化事業の普及活動にも活用して参加周知を実施する。 e. 令和7年度も、初心者コースにおいて、練習日程も含め導入編を更に充実させる。	
③ 実施期間（日時）	令和7年12月21日または14日（日）または27（土）14時開演

③実施場所	和泉市シティプラザ 弥生の風ホール
④主な対象者	和泉市（近郊）市民全般 老若男女を問わない
⑤参加予定者数	公募による一般市民の合唱出演者：１００人（毎年新規参加者数増減あり、学生４人を予定）観客：約３６０人 スタッフ（団体実行委員）：５人（合唱にも出演）
⑥告知方法	チラシ、ポスターの掲示 地域情報誌などへの掲載 他

５ 事業スケジュール

次期（月）	内容
R6、１２月	ホール予約
R7、１月～	練習会場等確保、企画会議
R7、６月～	合唱団員募集（チラシ作成・配布）
R7、１１月	チケット販売 練習開始
	プログラム準備・ホール打合せ
R7、１２月	リハーサル・本番

６ 審査項目からみた事業の自己ＰＲ ※要綱別表第２審査基準参照

（実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）

①公益性	①「第九」の演奏会は 2009 年以降、コロナ禍で中止（'20、'21 年）したもののその後、毎年開催して観客の皆さんからも開催の継続を喜んでいただいています。 ②和泉市民の老若男女、経験の有無を問わず、幅広く楽しく歌うことを心掛けています。また、歌いたい人たちの集まりとして、遠くまで出かけなくともよいように市内で開催します。 ③和泉市民の合唱の輪を広げ、文化的な環境の充実のため活動をしています。 ④コロナ後のマスク制限で低迷する合唱を「第九合唱を和泉に広げよう」と声掛けをするなど、新たな取り組みによって、合唱出演者が 80 人を超え、令和 6 年度は更に増加しています。
②継続性	⑤令和 4 年の団の解散が余儀なき事であり、令和 5 年に再結成をして、「第九」の継続性を考えました。そのために、合唱団を通じてメンバーの定着を図り、新規メンバーの募集を市民に向けて行い、令和 4 年を上回る団員数を得ました。現在も合唱メンバーの維持と増加に努めています。 ⑥本事業は、“「第九」は年末の恒例の合唱だ”と市民の間に定着して、広く普及することにより、日ごろの合唱活動と合わせて、和泉地域の文化事業として普及活動をしていきます。 ⑦合唱団参加費やチケット販売による財源確保をしています。 ⑧楽譜、CD 教材、練習等の基礎的なデータベースを作り会員登録をして、初心者も早期に合唱技術の習得を効率的に行えるようにしています。

③実行性	⑨今回の企画も、コロナ後の地域の合唱活動として定着することで、各合唱団体の連携等ができ幅広く歌声が広がる運動になると考えます。 ⑩事業計画を立て、団員数の確認（１００ 数名）と予算を計画して、不備が生じないように役員会で論議しました。 ⑪実行委員会体制は、合唱団の経験を積んだメンバーで構成し、高い演奏会レベルを維持するよう心がけています。 ⑫予算を役員で検討・精査し、演奏家への報酬も廉価で実施できるよう心がけました。 ⑬団員も幅広い年齢層になりますが、市内の合唱団を中心に団員交流を図っています。役員はラインを通じてのグループ論議をしながら、活動を充実させています。
④協働性	⑭「第九」と言えば、歌いなれた人の合唱、と思われそうですが、合唱団のみならず、広く市民の皆さんが集い歌えるものというのが「ファミリーコンサート」のモットーです。そのためにも初心者も募集して参りました。また、学生は参加費用半額等参加しやすくしています。本年は、初心者コースを設定し、これからの合唱を楽しんでもらうため、合唱員の卵の育成にも取り組んでいます。 ⑮本事業を実施することにより、各合唱団との連携を深め、他の団体との交流の機会となります。また、合唱団に属さない歌える人も多く集えるように団員募集には、公共施設のチラシ配布や掲示を行い、施設を訪問する多くの人たちにも呼びかけました。 ⑯広く市民の皆さんが集い歌えるものというのが「合唱」です。和泉市民の地域の合唱団体のみならず、学校においても幅広く歌える環境は、必要な文化です。そうした文化の土壌に、「第九」を定着させることにより、音楽文化が発展していくものと思われます。「第九」を身近に聴いていただくことで、より発展していくと考えます。
⑤公開性	⑰チラシは、多くの市民が集まるシティプラザ、コミュニティセンター、図書館、福祉施設などに配布させていただきます。 ⑱地域情報誌への掲載や SNS を活用し情報発信します。
⑥発展性 （先駆性・ 展開性） （集客性）	⑲和泉市において年度毎により質の高い演奏を続けることにより、さらなる発展をさせていき、市民の皆さんに喜んでいただける音楽としていきたい。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称：宮崎剛の「第九」ファミリーコンサート2025

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	730,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	306,000	3,000 円×100 人＝300,000 円 1,500 円× 4 人＝6,000 円 合唱参加費（実行委員会 5 名含む）
	540,000	1,500 円×360 枚 チケット販売
自主財源	23,000	実行委員会委員負担
合 計	1,599,000	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	980,000	音楽監督 1 名、ソロ 4 名、楽器奏者 7 名 （900,000） ステマネ 1 名、陰アナ 1 名 （40,000） 受付、会場係 4 名（団体構成員以外） （40,000）
消耗品費	20,000	用紙、インク、文房具代
食糧費	13,000	音楽監督・ゲスト昼食代（1,000 円×13 人）
印刷製本費	28,000	チラシ（A4 片面カラー5000 部） プログラム（A4 面カラー 4 ページ 600 部）
役務費	20,000	郵便、通信、振込手数料
委託料	60,000	プログラム等デザイン、チケット印刷販売
使用料及び賃貸料	470,000	弥生の風ホール費用、合唱練習会場費用
食糧費（対象外）	8,000	水分補給飲料代（スタッフ 8 人分）
合 計	1,599,000	
対象経費	1,591,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。